

# ELSIを踏まえた自動運転技術の現場に即した社会実装手法の構築

## Building the Method for Social Implementation of Automated Driving Technology Complying with Actual State Based on ELSI

Fund: JST RISTEX (RInCA)

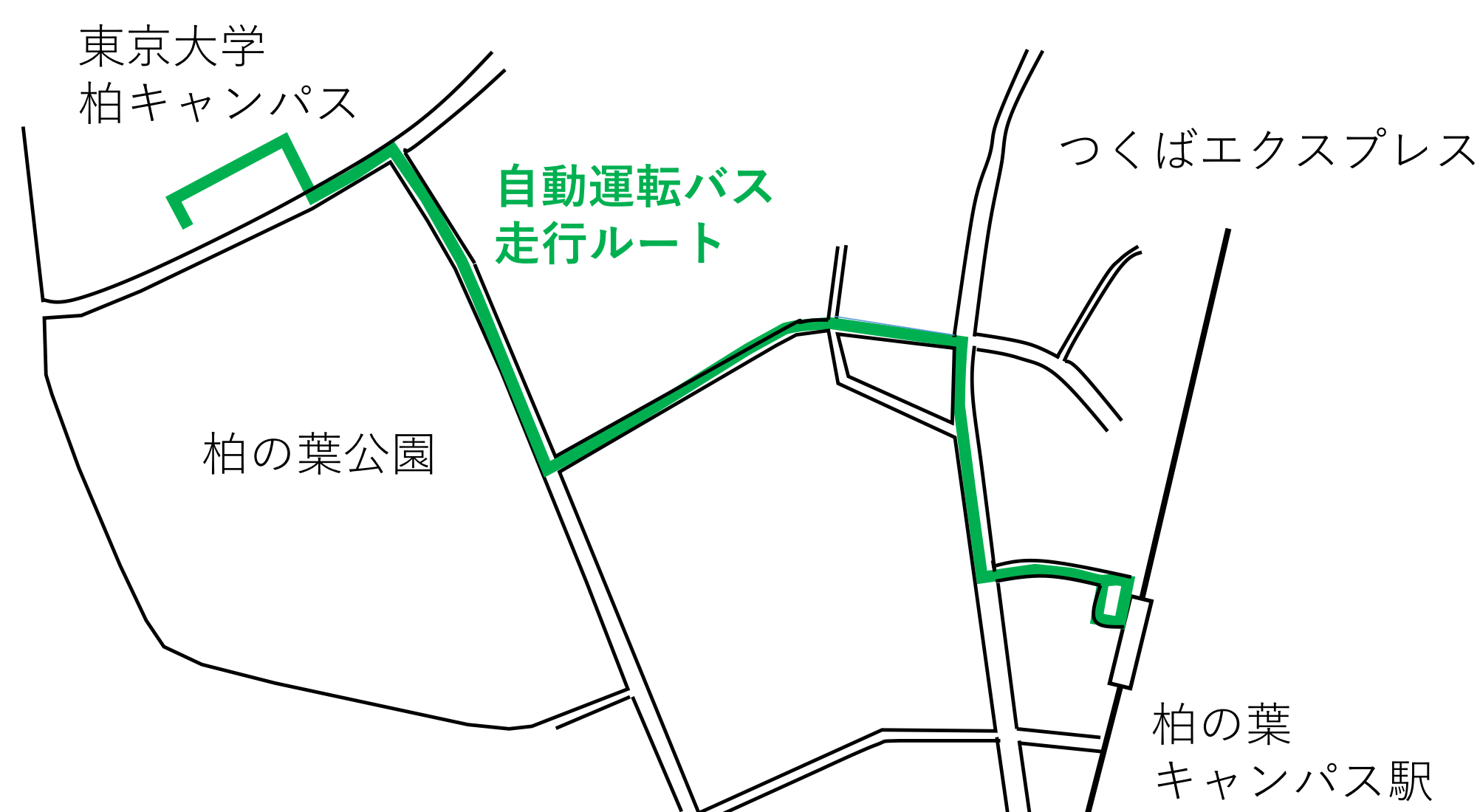
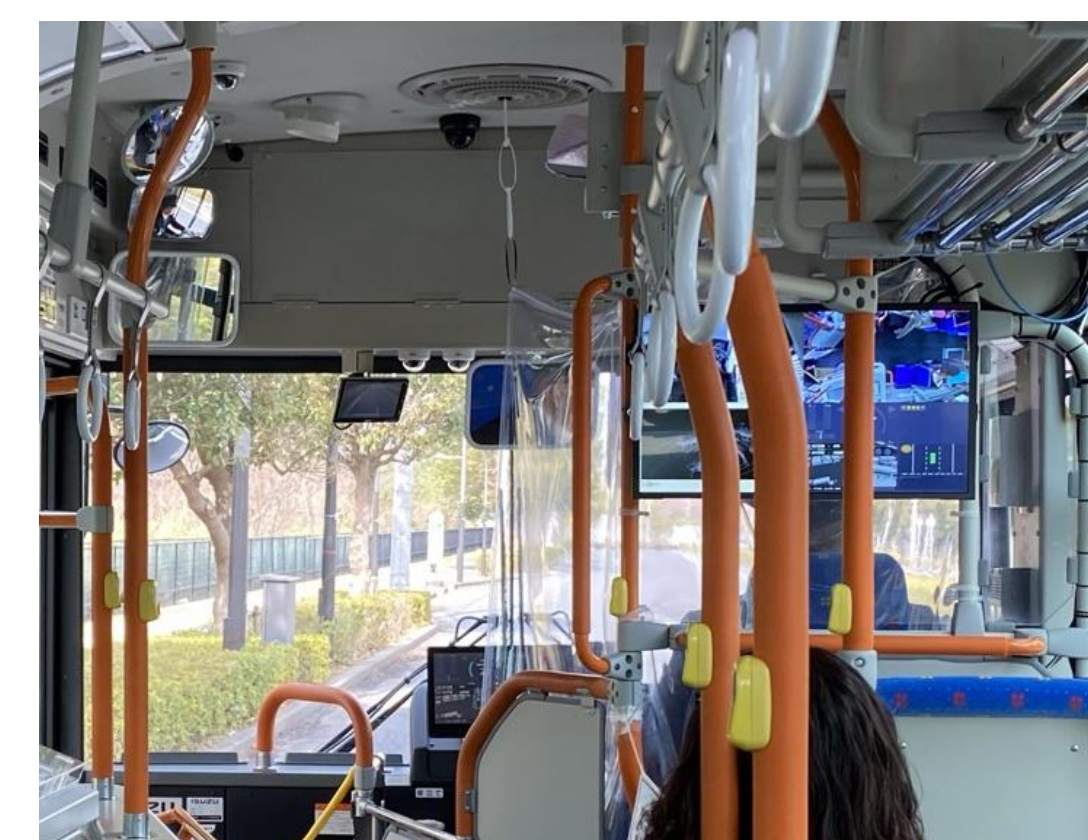
### 概要 Introduction

ELSIとは、Ethical, Legal and Social Implications/Issues (倫理的、法的、社会的課題)の略である。新たな科学技術の発展に伴って生じるELSIについてあらかじめ研究し、対処する取組は、様々な分野で行われてきている。

自動運転技術は、人間を運転から解放し、より安全・快適に移動できる社会を実現するものだが、自動車中心の街を作ってしまう可能性もあるし、人間と同様に事故を起こしうるものだ。本プロジェクトでは、自動運転技術に関するELSIを洗い出し、それを踏まえてこの技術をどのように社会に実装すべきかを検討する。

活動の一環として、一般市民の方に、柏ITS推進協議会が走行させている自動運転バス（柏の葉キャンパス駅－東京大学柏キャンパス間）に乗っていただき、意見抽出を行うといった取り組みも行っている。

この研究開発プロジェクトは、科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）による「科学技術の倫理的・法制度的・社会的課題（ELSI）への包括的実践研究開発プログラム」（RInCA）（令和2年度）に採択されている。



### 根源的な問いと将来展望 Fundamental questions and future prospects

自動運転車も人間と同様に誤りや事故の可能性を持つ。社会はそれを受け入れることができるのか？ 受け入れるべきか？ どのようにして？

当プロジェクトは、社会がイノベーションの利益を適切に享受できる将来を目指す。そのためには、新技術が孕むリスクが適切に理解され、倫理的に許容可能なリスクの範囲や、公正な補償について検討されることが不可欠である。

### 研究開発構想 R&D concept



### 事業の目標 Aim of the Project

自動運転バスの実証実験と連動した形で科学技術コミュニケーションを実践することにより、専門家-一般市民の間での自動運転技術に関するより深い理解と対話のための方法を確立する。

客観的証拠に基づく自動運転車の事故紛争解決を可能にする法・制度のあり方を提案する。

自動車が社会に受容された歴史の調査と倫理的検討を通じて、自動運転技術の社会的受容のあるべき形を検討し、それを実現するための方法を提案する。

上記を通し、自動運転技術のイノベーションが社会に開かれた形で振興することを可能にする。

**Publications** Tsutsui H., 2021, Summary of issues on ethics of automated driving technology, The 20th annual meeting of the Japanese Society for Science and technology Studies, 5 December, held online (in Japanese).